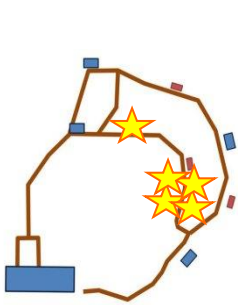


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.7

今のおすすめは カラマツソウ です



↔
< 約 2 cm >
一周約 1km
所要時間30~40分
初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

★☆☆☆☆ キンポウゲ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中(約 80cm程度)



小指の先くらい

【漢字:唐松草】

名前の由来は、花の様子が唐松の細長い葉に似ていることから名づけられました。スラリと伸びた茎の先で、線香花火の火花を散らしたように繊細に咲きます。花びらは無く、たくさんの雄しべと雌しべがあります。葉はペンギンの足跡の形のように可愛いです。

エゾカンゾウ ススキノキ科 咲いています



一つの花は一日しか咲きませんが、次々と開花するので数日間楽しめます。本州では「ニッコウキスゲ」と呼ばれどちらも同じ花ですが、北日本の厳しい環境に適応して、形態が変化しています。

コバイケイソウ シュロソウ科 咲いています



背が 1m-1.5m とノッポで、トウモロコシのようなこんもりとした白い花が咲きます。大型のため、「サロベツ湿原の横綱」と言えますが、近づいてよく見るとその名の通り梅のような可憐な花を咲かせています。

カラフトイソツツジ ツツジ科 咲いています



1cm くらいの白く可愛らしい花が球状に多数ついています。枝葉を指で強めに擦ると、コーラのような臭いがします。エゾ(蝦夷)が訛ってイソ(磯)となったという説があり、磯には生えません。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3232 FAX 0162-82-1009

E メール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!